

湖東定住自立圏（彦根市と愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町との広域連携）の具体的な取り組み

環境

低炭素社会の実現を目指します

湖東定住自立圏では、広域的な環境保全対策に取り組んでいます。

彦根市では、平成20年7月に「低炭素社会構築都市宣言」を行いました。この宣言に基づき、二酸化炭素の排出を抑え、地球温暖化を防止するため、太陽光発電などの自然エネルギーやバイオディーゼル燃料の活用といった省エネルギー・省資源への取り組み

や、里山保全などの地域ぐるみで行う環境保全活動を推進しています。

今後は、湖東圏域内で連携し、更なる温室効果ガス排出量削減や森林などの保護などによる低炭素社会構築の活動を進めます。

また、低炭素社会構築の考え方を基にクリーンエネルギーの有効活用を目指し、「緑の分権改革推進事業」にも圏域での事業として取り組んでいきます。

問い合わせ先 圃生活環境課
 ☎30-6116番、FAX 27-03995番

緑の分権改革推進事業について

地域にある豊かな自然資源と、それにより生み出される食料やエネルギー、あるいは歴史文化資産の価値などを把握し、地域で最大限活用する仕組みづくりを進める事業です。

この仕組みを作り上げていくことで、エネルギーや産業の創出を行い、雇用の確保や定住を進め、湖東圏域において、豊しく豊かな地域社会の実現を目指します。

今年度、圏域では下の表にある事業に取り組めます。

圏域で進める、良好な環境を守り育てるための具体的な取り組み
 ～緑の分権改革推進事業～

バイオマス資源の有効活用方法の検討

すでにごみ収集車燃料の一部を廃食油から精製したBDF（バイオディーゼル燃料）を使っていますが、BDFの更なる有効活用調査や、間伐材などの草木、食品廃棄物、生物由来の資源を、エネルギーや肥料として利用する方策について、調査研究を行っています。



▲市役所にある廃食油回収BOX

市民太陽光発電所の設置と仕組みづくり

市民から出資を求め、太陽光発電所を設置します。そのときに、運営のあり方について問題点を調査し、持続可能な制度になるかを検証します。

今回は、愛荘町のる一ふる愛知川と市内で発電所の設置をします。

低炭素社会の実現のために市民発電所の設置や発電所への出資にご協力いただける、または関心がある人（団体を含む）は、圃生活環境課までご連絡ください。



▲たんぼぼ作業所にある市民太陽光発電所

小水力発電の調査と利用可能性の検討

湖東圏域は、せせらぎや農業用水路など、水に恵まれています。この自然の恵みをいかした水力発電の可能性について、甲良町の親水公園や豊郷町の豊栄のさとなどで、実際に発電機を動かして調査し、街路灯や獣害用電気柵などの電力源としての活用を検討しています。



▲大分県日田（ひた）市で稼働する小水力発電

地域医療

地域医療再生計画と連携して、地域医療の充実を図ります

医療の分野については、滋賀県の「地域医療再生計画」と連携して進めています。

地域医療再生計画の実施については「湖東・湖北医療圏地域医療再生計画推進協議会」で協議されています。

10月22日(金)に同協議会で、回復期リハビリテーション病棟施設整備および救急医療体制の充実についての事業計画が承認されました。なお、整備費用は滋賀県地域医療再生基金を活用します。

回復期リハビリテーション病棟施設整備（豊郷病院）

湖東医療圏には回復期リハビリテーション病床がないため、急性期病院退院後の受け皿がなく、適切な回復期リハビリテーションが受けられず、入院期間が長期化するとともに、在宅療養への円滑な移行に支障をきたしている状況です。

患者中心の医療を実現し、病気が発症した急性期の治療を終えたのち、身体機能で



▶回復期リハビリテーション病棟が新設される豊郷病院

きるだけもとのように回復し、在宅で療養しながら生活が送れるよう、それぞれの時期に応じた適切で効率的な医療を提供するため、豊郷病院が回復期リハビリテーション病棟の整備を行います。

事業内容 回復期リハビリテーション病棟30床新設
開設予定 平成24年6月（予定）
基金活用額 3億円

救急医療体制の充実（彦根市立病院）

市立病院では、年間6000件余りの心臓カテーテル検査を実施しています。しかし、血管連続撮影室が1室しかなく、長時間を要する治療に使用している場合、この間の救急患者の受け入れができない状況にあります。

湖東医療圏の唯一の公立病院として、二次救急だけでなく三次救急の一部も担う市立病院の救急患者の受け入れを確実なものとするため、新たに血管連続撮影室の整備を行います。

事業内容 血管連続撮影室の整備
稼働予定 平成23年12月（予定）
基金活用額 5,000万円

問い合わせ先
 回復期リハビリテーション病棟施設整備 圃健康推進課
 ☎24-0816番、FAX 24-5870番
救急医療体制の充実 市立病院企画経営課☎22-6050番、FAX 26-0754番

コンピュータシステムの共同利用・共同開発

コンピュータシステムの共同利用や共同開発などに取り組みます

コンピュータシステム部会では、現在、各市町で使用しているコンピュータシステムや今後開発予定のシステムについて、経費の削減、事務の効率化などのため、共同利用や共同開発について取り組みます。

▼今年度の取り組み

圏域でのコンピュータシステムの共同利用や共同開発などに取り組むため、共同運用可能な業務および効率化が図れる業務などの現状把握と課題整理を行っています。

▼今後の取り組み

今後は、共同利用を行う業務やその運用方法など、具体的な検討を行っていきます。

そのあと、共同運用可能な業務から、順次システムの共同化を進めていきます。

問い合わせ先 圃情報政策課
 ☎30-6104番、FAX 22-13988番

職員等の交流

職員の人材育成・職員交流の取り組み

彦根市と4町の職員が交流を深めるとともに、職員間の相互啓発を推進するため、今年度から一部の階層で合同研修を始めました。

その一環として、これまで彦根市が単独で実施してきた「政策形成能力養成研修」を合同研修として行っています。この研修は、6か月にわたる長期研修で、係長級職員を中心とした23人が4グループに分かれ、政策研究を重ねています。12月には湖東圏域の行政課題に対応した具体的な政策提言を行う発表会を開催する予定です。

また、11月には、これまで4町合同で実施していた管理職研修会に、彦根市職員も参加し、更なる管理能力の向上を図りました。

さらに、相互の先進的業務に関する技術や知識を習得するとともに、職員の人材育成を図るため、互いに職員の派遣や受け入れを行う交流事業も順次取り組みを進めています。

問い合わせ先 圃人事課
 ☎30-6106番、FAX 22-13988番